



第14週の発生動向 (2005/4/4~2005/4/10)

- インフルエンザについては、八戸保健所、五所川原、上十三保健所、むつ保健所管内において**警報**が継続していますが、減少傾向にあります。
- A群溶血性レンサ球菌については、県内では減少傾向ですが、弘前保健所管内において、先週に引き続き**警報**がだされております。

第14週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	100	7.69	144	9.00	141	10.07	106	15.14	224	24.89	86	14.33	801	12.32	-509
(60) 咽頭結膜熱											3	0.75	3	0.07	-1
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	2.63	25	2.50	9	1.00	1	0.20	11	1.83	3	0.75	70	1.67	-23
(62) 感染性胃腸炎	34	4.25	80	8.00	6	0.67	7	1.40	8	1.33	45	11.25	180	4.29	-15
(63) 水痘	9	1.13	7	0.70	11	1.22	6	1.20	3	0.50			36	0.86	-21
(64) 手足口病			1	0.10	2	0.22			8	1.33	3	0.75	14	0.33	+3
(65) 伝染性紅斑	2	0.25							1	0.17	1	0.25	4	0.10	-3
(66) 突発性発しん	1	0.13	6	0.60	7	0.78			3	0.50	4	1.00	21	0.50	+8
(67) 百日咳															
(68) 風しん	1	0.13											1	0.02	±0
(69) ヘルパンギーナ	4	0.50											4	0.10	+4
(70) 麻しん(成人を除く)					1	0.11							1	0.02	+1
(71) 流行性耳下腺炎	1	0.13	1	0.10	5	0.56	3	0.60	3	0.50			13	0.31	+1
(73) 急性出血性結膜炎															
(74) 流行性角結膜炎									1	0.50			1	0.09	-3

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

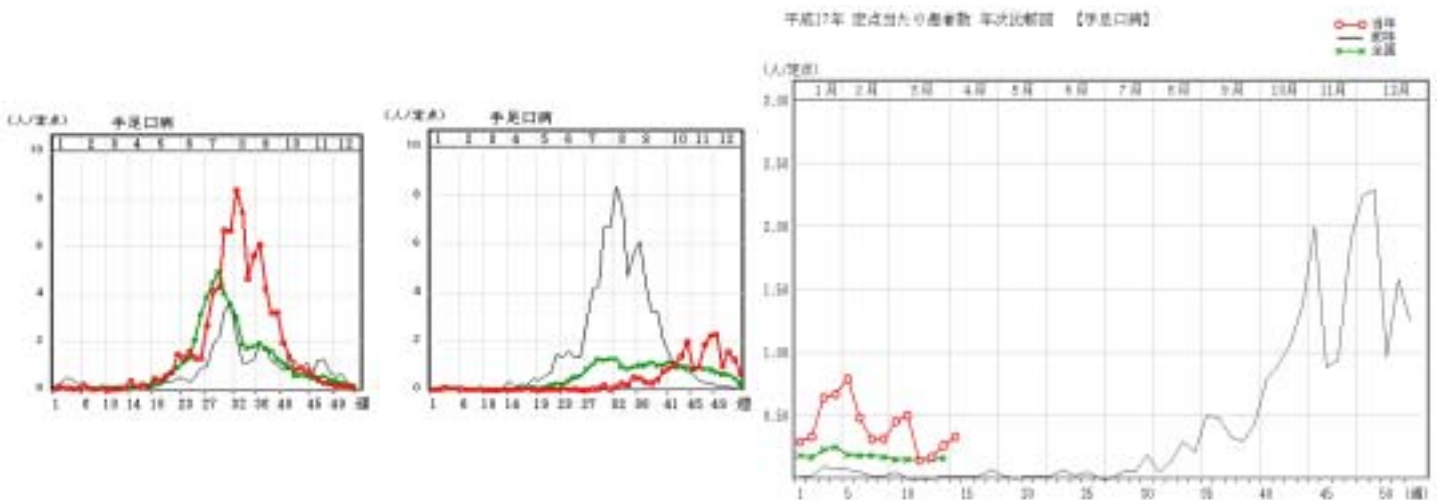
は警報 は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

(82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (17年計 32人)

感染症の窓

手足口病 (hand,foot and mouth disease: HFMD)



手足口病は、全国及び青森県においては、例年6月から7月をピークに流行していましたが、平成16年の青森県のピークは10月下旬から12月上旬にずれ、さらに、平成17年の14週まで全国平均値を上回った報告数が続いています。今後、手足口病の本来の流行時期に向かうことから、発生動向に十分な注意が必要と思われます。

手足口病は、主として乳幼児に見られ、手、足、口腔内に小水疱が生ずる伝染性のウイルス性感染症です。原因ウイルスとして、コクサッキーA16型、エンテロウイルス71型、コクサッキーA10型等が知られています。